



きらりん えがお

令和5年2月1日
平田幼稚園
園長 田中佳江

先週は10年に一度の大寒波に見舞われ、大雪となりました。出雲市内の幼・小・中学校も臨時休業となり、全国各地では大変な被害も出ていたようです。みなさんのところは大丈夫でしたでしょうか。臨時休業が明けた26日(木)、職員は朝から雪かきをし、子ども達の登園を待っていました。子ども達は一面の雪景色に目を輝かせて「早く雪で遊ぼうよ!」と笑顔いっぱいでした。(大人は大変でしたけどね・・・)朝の持ち物の準備を済ませると、早速雪遊びの身支度を整え、園庭へ飛び出しました。誰も踏んでいないきれいな雪に足跡をつけたり踏んで感触を確かめたりする子、雪だるまを作ろうとどんどん大きくなっていく雪の球を一生懸命転がす子、友達や先生と雪合戦をする子、築山からソリすべりをし歓声をあげる子・・・。どの子も寒さや冷たさを忘れ、夢中で雪遊びを楽しみました。

遊んだ後は、保育室のストーブ周りに色とりどりの手袋や靴下が乾かされていて、「これも昔から変わらない、冬の風物詩だなあ」と、満足そうな子どもたちの笑顔を見て感じました。



「雪をスコップで集める年少児」



「雪合戦を楽しむ年中児」



「大きな雪だるま作りに挑戦する年長児」

避難訓練をしました「自分の身を守るためには」

1月24日(火)今年度3回目の避難訓練を行いました。1回目は保育室で活動している時に火災が起きた想定、2回目は保育室で降園準備をしている時に地震が起きた想定で、この時はメールを使ってお迎え訓練もしました。今回3回目は予告なしで、自由にいろいろな場で遊んでいる時に火災が起きた想定でした。保育室や遊戯室、廊下等で遊んだり、もしかしたらトイレに行っているかもしれない状況です。(この日は天気が悪かったので園庭では遊ばせませんでした)そうした状況で、火災報知機のベルが鳴ったら、あわてて自分の部屋に帰りたくなるかもしれません。担任の先生を探すかもしれません。でも、そんなことをしていたら火災に巻き込まれてしまいます。今回のねらいは、「近くにいる先生の指示を静かに聞き、放送をよく聞いて安全に避難する」ことでした。また、職員も一部の者しか訓練時間や火元、避難場所は知らせてありませんでした。「とっさの時に、子ども達を守れる最善の行動がとれるか」「互いに声を掛け合いながら自分の役目を理解し、安全に避難行動がとれるか」という職員の訓練でもありました。10時頃、火災報知機のベルが鳴ると、園舎のあちらこちらで遊んでいた子ども達は、近くにいた職員の指示で身を低くし、静かにしていることができました。怖がる子はいましたが、誰一人自分の保育室へ帰ろうとする子はいませんでした。続いて避難指示の放送が流れるとそれもよく聞いて、いつもの避難場所とは違う預かり保育室へ静かに避難することができました。いつも一緒にいるクラスの先生やクラスの友達とは違う、他クラスの友達や先生と一緒に、全員が無事避難することができました。子ども達には「ベルや放送を静かに聞いたこと、クラスの先生ではなくてもいろいろな先生の話聞いて逃げることができたこと、いろいろなところで遊んでいる時にベルが鳴ったけれど、自分のクラスへ帰らずに安全に逃げることができたこと」を褒めました。今回の避難訓練は、とてもレベルの高いことを盛り込んだと思います。しかし、災害はいつ起きるかわかりません。みんなが保育室にいる時に起きるわけではないのです。そんな時に、幼稚園のどの先生の指示でも落ち着いて聞ける習慣をつけておかななくてはならないと思います。そして私たち職員は、一人一人が自分で最善の方法をとれるよう考えて行動しなくては子ども達の命は守れないと思うのです。このような訓練は、3学期で3回目の訓練だからこそできたことかもしれませんが、日頃から静かに話を聞いたり、自分で考えて行動したりすることの積み重ねが、今回のとても上手な避難訓練につながったのではないかと思います。ご家庭でもぜひ災害時のことを話題にして、「自分の、家族の身を守るためには」を考えてみてはいかがでしょうか。

「アートフェスティバル」に参加します

便りでもお知らせしていますように、2月4日(土)、5日(日)に、3年ぶりにアートフェスティバルが開催されます。平田地区の保・幼・小・中・高が参加し作品を展示します。平田幼稚園でもテーマを決めて、作品作りに取り組んでいるところです。自分なりに工夫したり、楽しんだりしながら作っています。ぜひ会場に足を運んでご覧ください。

